

土曜授業（人権集会・人権講演会）がありました

10月27日（土）に土曜授業を実施しました。生徒たちは、6月に各クラスで作成した人権目標の達成状況や、今後の課題について話し合いました。その結果を今回の人権集会で各学級委員が発表しました。目標達成へのさらなる意欲が伝わってきて、頼もしかったです。その後、生徒会執行部から、「学校生活についてのアンケート」の分析結果の発表がありました。「いじめに対して一層関心をもち、いじめを止めよう。」「授業に集中し、私語等の迷惑行為をやめよう。」などと訴えかけました。学校生活をより良いものしたいという思いがよく伝わってきました。



人権講演会では、「ネット時代を生きる子どもたち」という演題で、山陽新聞社の記者の方からお話を聞きました。岡山県内の生徒が巻き込まれた事例が中心だったので、身近なこととして受け止め、自分自身のスマホの利用の仕方を振り返ることができた生徒が多かったです。ネット利用の危険性や人権侵害につながる問題点などについて、深く考えることができました。ネットやスマホの正しい使い方を学ぶことやその使用を自己管理できるようにすること、当事者意識をもつことなどがとても大切だと教えていただきました。

ご参観いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

講演への感想（一部抜粋） ○：生徒、●：保護者

○たった1枚や2枚の写真で学校名や名前が特定されるのは怖いと思った。身内だけに送ったのにネットで拡散される危険性があることも分かった。今回岡山県内であった事例を聞いて怖いものだと改めて感じた。ネット上での言動には十分に気をつけていかなければならないと思う。○「デジタルタトゥー」という言葉を初めて聞いた。今まで自分は大丈夫だと思っていたけど、ネットの利用について気をつけようと思う。○トラブルに巻き込まれないように家族とのコミュニケーションを大切にしようと思った。○ネットを通してのやりとりで相手に誤解されるかもしれないので、改めて正しい使い方をしようと思った。●「車は免許がいる。ネットは知らない。」と聞き、本当にそうだなと思った。勉強して取り組まないと大変なことになると思う。●私たちがスマホのことをもっと知ることによって、危険なことや便利なことを子どもたちと話し合えると思う。●ネット社会の危険性を改めて感じた。親子で色々と話す機会を増やそうと思う。

生徒会役員選挙が行われました



11月2日（金）に生徒会役員選挙が行われました。定数7人に対し、8人の立候補者がありました。選挙管理委員は、準備から当日の運営までその責任を十分に果たしました。

立会演説会では、どの候補者も公約を分かりやすく述べていて、生徒会を盛り上げていこうとする意気込みが強く伝わってきました。推薦者は、立候補者の普段の様子や人柄についてエピソードを交えて紹介し、推薦理由もはっきりと述べていました。

選挙は、倉敷市選挙管理委員会からお借りした本物の記載台を利用して行われました。生徒は真剣に演説を聞き、真剣に投票も行って、とても立派でした。